L3828/3776 (0505)

取扱説明書 ―― 簡易取り付け型 ―― 保管用

yamada

# 蛍光灯シ-リング
## (天井付専用型)
## ご使用になられる前に必ずお読み下さい

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

## ■仕様

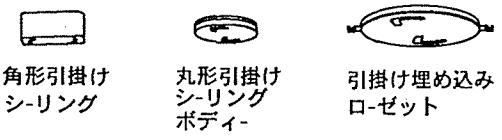
| 品番 | 適合ランプ | 使用電圧 |
|---|---|---|
| LF−3828 | E26電球形蛍光ランプ　EFA13w以下X4 | 100V(±6%) |
| LF−3776 | E26電球形蛍光ランプ　EFA13w以下X4 | 100V(±6%) |

### この取扱説明書のマ-クについて。

⚠ 警告　説明書中の　警告　は重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠ 注意　説明書中の　注意　は物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗ このマ-クについている説明文は、必ず守ってください。
🚫 このマ-クについている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

## ● 取り付け　取扱い上の注意

すぐ取り付けられます



角形引掛けシ-リング　丸形引掛けシ-リングボディ-　引掛け埋め込みロ-ゼット

配線器具の取付工事が必要です

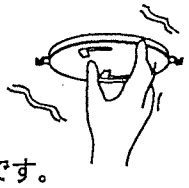
配線だけの場合
付属の引掛けシ-リングボディ-を取り付けてください

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋め込みロ-ゼットを取り付けてください。

## ⚠警告

🚫 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

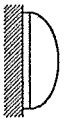


🚫 樹脂製ボックスカバ-には取り付けないで下さい。
★器具の落下事故の原因となります。

❗ 付属の引掛けシ-リングボディ-の取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。★一般の方の工事は法律で禁止されています。

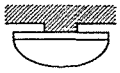
🚫 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★漏電や感電事故の原因となります。

🚫 次のような場所には取り付けないでください。★器具の落下事故の原因となります。

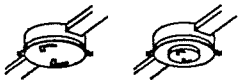


壁面

傾斜した場所



不安定な場所



ケースウェイにセットされている配線器具

🚫 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

🚫 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

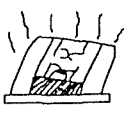
## ⚠注意

❗ ＡＣ100Ｖ専用です。必ずＡＣ100Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱して、火災の原因となることがあります。

❗ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

🚫 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバ-の変形や火災の原因となります。

🚫 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバ-のヒビ割れなどの原因となります。



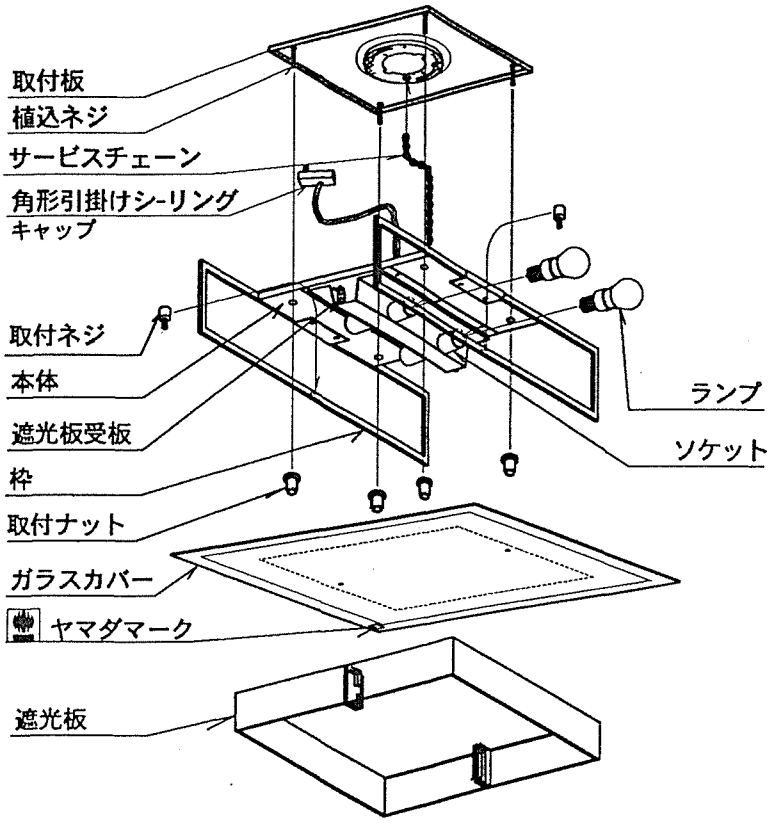
🚫 ヒビの入ったカバ-や、一部の欠けたカバ-は使用しないでください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

🚫 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★調光器の故障の原因となります。

## 各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または別紙の山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

### ■ 器具構成図




### ■ 付属品

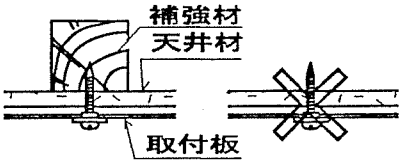
- 角型引引掛シ-リング（ボディ-） — 1個
- 木ネジ（シ-リングボディ-用） — 2本
- 座付木ネジ（取り付け金具用） — 2本
- ロ-ゼット用ネジ（取り付け金具用） — 2本
- E26電球形蛍光ランプ — 4個
- 取扱説明書（本書） — 1枚
- 保証とアフターサービス（別紙） — 1枚

## 取り付け場所の確認

⚠ 警告

❗ 配線器具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠ 注意 建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。




## 取り付け方 ⚠ 注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警告 ❗ 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下によるケガや火災、感電事故の原因となります。

● 器具を取り付ける前に。
枠から取付ネジ（2個）をはずし、取付ナット（4個）をはずして、本体から取付板を取りはずしてください。

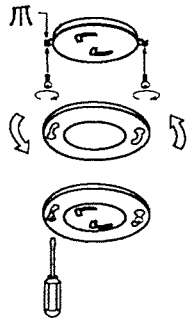
### 1、取付板のセット

**A：引掛け埋め込みロ-ゼットが天井についている場合**
引掛け埋め込みロ-ゼットの爪を利用して取り付けます。

① 引掛け埋め込みロ-ゼットの爪に付属のロ-ゼット用ネジを落ちない程度にねじ込みます。

② 取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ ネジが溝の中心付近に来たらネジをしっかり固定します。

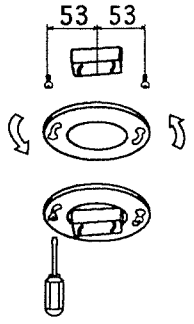



**B：角（丸）型の引掛シ-リングボディ-が天井についている場合**
付属の座付木ネジを利用して取り付けます。

① 引掛けシ-リングボディ-を中心に左右53mmの位置に木ネジを3分の1ほどねじ込みます。

② 取り付け板のダルマ穴にネジを通し、溝に沿って取り付け板を左に回転させます。

③ ネジが溝の中心付近に来たらネジをしっかり固定します。

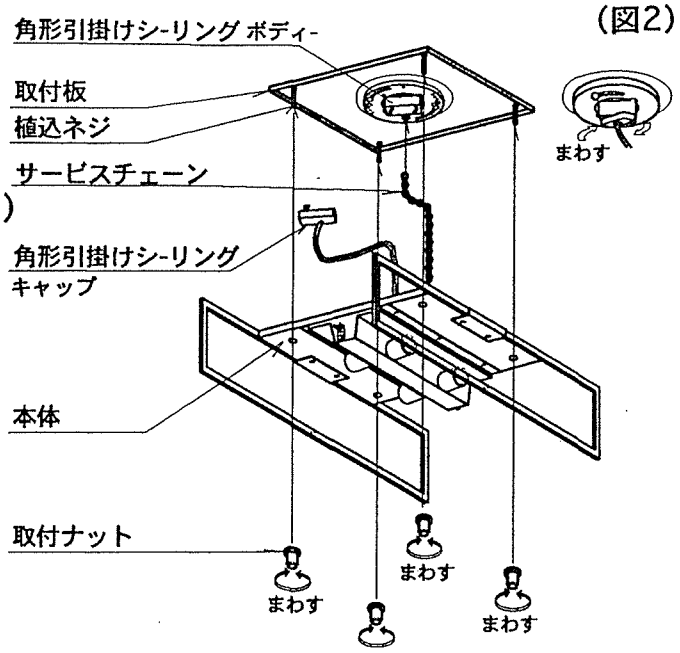


2、サービスチェーンを取り付けます。(図2)
本体に付いているサービスチェーンを
取付板のフックに引っ掛け本体を吊り下げます。

3、引掛けシ-リングキャップを接続します。(図2)
引掛けシ-リングキャップを引掛け埋め込み
ロ-ゼットまたは引掛けシ-リングボディ
に差し込んで時計方向に止まるまで回転させます。

4、本体を取り付けます。(図2)
取付板の植込ねじに合わせ入れ込み固定します。
取付ナット（4個）で締込み固定します。

(図2)



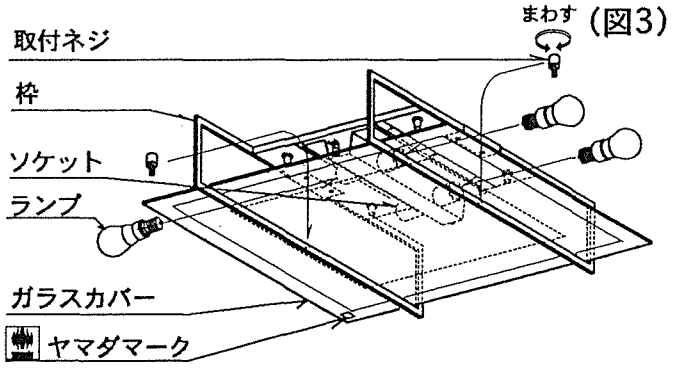

5、ガラスカバーを取り付けます。(図3)

⚠注意
★カバーはガラス製で重量も有ります。
取り付け作業は、なるべく2人で
行うようにしてください。
★指紋が付きやすいのでゴム手袋などを
ご使用ください。
ヤマダマークが付いている方を下にして、
ガラスカバ-を両手でささえ、枠にのせ
取付ネジ（2本）で締め込みます。

⚠注意
⃠ カバ-取付ねじは、必要以上に締め込ま
ないでください。
★カバ-が割れる恐れがあります。

❗ カバ-にヒビが入っていたり、
一部が欠けている場合には、ただちに新
しいカバ-と交換してください。
★カバ-の破損、落下の原因となります。

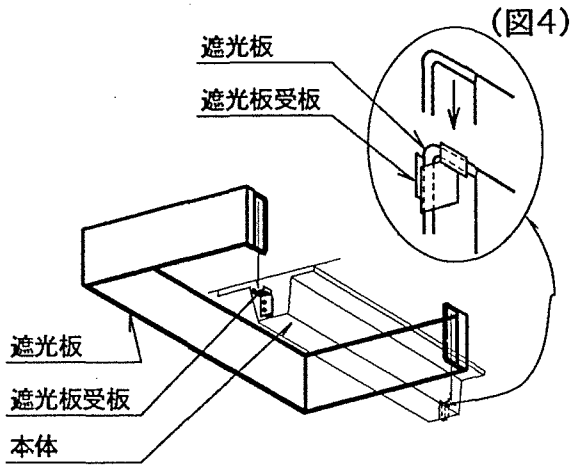
(図3)



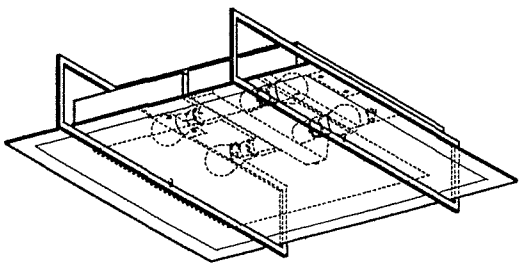

6、ランプをセットします。(図3)
ランプをソケットに合わせてねじ込みます。

⚠ 注意
⃠ ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてケガをする恐れがあります。

(図4)




7、遮光板を取り付けます。(図4)
① 遮光板をランプ側から遮光板受け板に
当たるまで差し込みます。
② 遮光板の上棒が遮光板受板に
乗るように落とし込みます。
＊遮光板受板にしっかりセットされたことを
確認してください。
③ 同様にしてもう片方の遮光板も取り付けます。



## スイッチ操作

壁スイッチにて　ON-OFF　操作を行います。

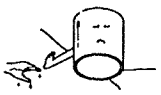
## お手入れについて ⚠ 注意 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

- こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

## ⚠ 注意

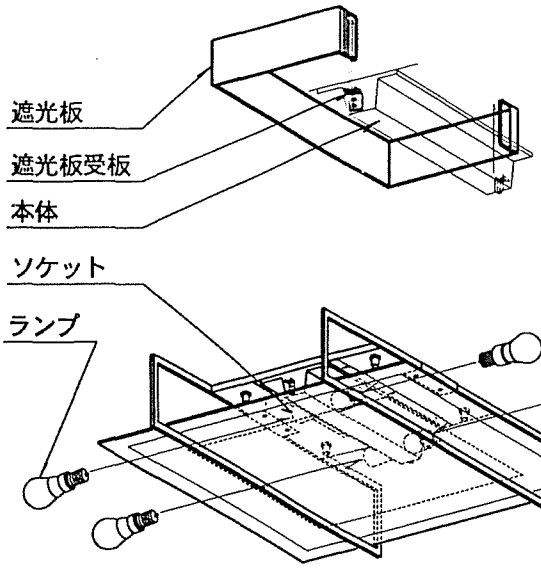
- ランプの交換やお手入れをするときは、必ずスイッチを切ってからとりかかってください。
  ★火災や感電事故の原因となります。

- スイッチを切った直後の電球は熱くなつています絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオルなどを使って交換してください。★火傷の原因となります。
- 濡れた手で触らないでください。★感電事故の原因となります。



- ランプは乱暴に扱わないでください。 ★ランプが割れて怪我をする恐れがあります。
- 適合ランプ以外のランプは使用しないでないでください。表紙の仕様欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
  ★不適合な電球を使用すると異常過熱による火災の原因となります。
- シンナ-やベンジンなど揮発性の薬品やクレンザ-などは使用しないでください。
  ★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

## ■ランプの交換




1 スイッチを切ります。
⚠ 注意 ランプ交換時、
ぬれた手でさわらないでください。
★感電事故の原因となります。

2 遮光板を外します。
① 枠側から両手を差し込み遮光板を上へ持ち上げます。
② ゆっくりと外へ引き出し外します。
③ 同様にしてもう片方の遮光板も外します。

3 ランプを交換します。
⚠ 注意 ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプ割れ等の事故の原因となります。

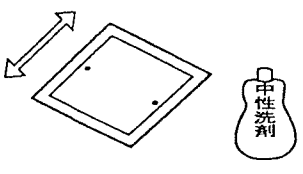
4、遮光板を取り付けます。
（ 取り付け方 の「7」をご参照ください。）

## ■お手入れのしかたについて

⚠注意 この器具は表面に飛散防止フィルムがはってあります。

- 乾拭きはしないでください。
- クレンザー、硬い布、紙など、フィルム面を傷つける恐れのあるものは使用しないでください。
- 図の矢印方向へ向かって拭いてください。★いずれの場合もフィルムのはがれの原因となります。

①スイッチを切ります。
② 遮光板をはずします。（ランプの交換の『2』をご参照ください。）
③ 遮光板は軽くハタキをかけるか、柔らかいハケ、ブラシでほこり取り除きます。
④ 柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
⑤ 汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
⑥ 遮光板を取り付けます。（取り付け方「7」をご参照ください。）




## ■アフター-サ-ビスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の型番（器具本体のラベルでご確認ください）
故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。